

地域計画(変更案)

策定年月日	令和7年3月3日
更新年月日	令和8年3月4日 (第1回)
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	東員町 243248
地域名 (地域内農業集落名)	川北地区 (筑紫・穴太・瀬古泉・山田・六把野新田・鳥取・八幡新田・大木・北大社)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	351 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	351 ha
② 田の面積	340 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	11 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は、農業者の高齢化が進み、遊休農地の更なる増加が懸念されることから、持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、新規就農者を確保・育成しつつ、地域住民などを交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が課題である。このため、分散する担い手の農地を集約化していく必要がある。

【地域の基礎的データ】

農業者:16人、団体経営体(法人・集落営農組織等)6経営体

主な作物:水稻、小麦、大豆

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

可能な限り、現在の水稻栽培を主とする営農形態を維持する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、地域と担い手が一体となって集落の農地の保全に努める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	62 %	将来の目標とする集積率	75 %
--------	------	-------------	------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

農地バンクへの貸付けを進め、担い手への農地の集積・集約化を進める。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地域全体の農地を農地中間管理機構に貸し付け、担い手の経営意向を考慮し、段階的に集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組
本町の農地は、ほ場整備、集落排水、農道等の農業生産基盤整備は概ね完了しているが、担い手のニーズを踏まえ、農用地の大区画化・汎用化等を推進していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
新規就農や認定農業者の規模拡大については、関係機関との連携を図り地域全体で支援していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
従来から行われている耕作者間での協力体制を維持しながら、防除作業など専用機械を用いた作業による効率化が期待できる場合は作業受託を積極的に検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ③作業の省力化・効率化に向けて、スマート農機の導入を図る。
- ⑦地区内の農道・水路等の施設について、担い手及び地区住民の話合いにより相互に連携協力し、適切に維持管理していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	A	米、麦、大豆	2.1 ha	0.0 ha	米、麦、大豆	0.4 ha	ha	A	
認農	B	米、麦、大豆	18.7 ha	1.3 ha	米、麦、大豆	20.7 ha	ha	B	
認農	C	米、麦、大豆	54.2 ha	1.9 ha	米、麦、大豆	83.6 ha	ha	C	
認農	D	米、麦、大豆	20.0 ha	1.7 ha	米、麦、大豆	39.5 ha	ha	D	
認農	A	米、麦、大豆	5.5 ha	0.0 ha	米、麦、大豆	18.8 ha	ha	A	
認農	E	米、麦、大豆	6.5 ha	0.0 ha	米、麦、大豆	19.3 ha	ha	E	
認農	F	米、麦、大豆	17.6 ha	0.5 ha	米、麦、大豆	19.2 ha	ha	F	
認農	G	米、麦、大豆	2.3 ha	0.3 ha	米、麦、大豆	8.1 ha	ha	G	
認農	H	米、麦、大豆	15.8 ha	1.6 ha	米、麦、大豆	25.1 ha	ha	H	
認農	I	米、麦、大豆	37.9 ha	1.4 ha	米、麦、大豆	61.3 ha	ha	I	
認農	J	米、麦、大豆	21.8 ha	1.8 ha	米、麦、大豆	20.7 ha	ha	J	
認農	K	米、麦、大豆	6.6 ha	1.3 ha	米、麦、大豆	15.3 ha	ha	K	
認農	L	米、麦、大豆	10.8 ha	0.2 ha	米、麦、大豆	8.1 ha	ha	L	
			ha	ha		ha	ha		
計	13経営体		219.7 ha	17.1 ha		340.1 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業者名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)